2023 年 8 月 4 日

スーパー耐久シリーズ第 4 戦　オートポリス

5 時間フォーマットのオートポリス戦で　クラス 3 位表彰台を獲得

7 月 29 日(土)～30 日(日)、オートポリス（大分県）にてＥＮＥＯＳ スーパー耐久シリーズ 2023 Supported by BRIDGESTONE 第 4 戦 が開催され、5 時間フォーマットのレースに Honda R&D Challenge FL5 で参戦しクラス 3 位で完走を果たした。これで昨年の最終戦鈴鹿から新型 CIVIC TYPE R (FL5)でデビュー 5 戦連続の表彰台となった。

QUALIFY / 予選

全国的に猛暑日がつづいたレースウィークとなったが、木曜日、金曜日と大きなトラブルなく走行。予選が行われた土曜日も、午前中のフリー走行を含め快晴のコンディションでの走行となった。午後 2 時から行われた予選セッションでは、A ドライバー石垣選手が練習走行のタイムを大きく上回る 2 分 03 秒 353 でクラス 3 番手。B ドライバー木立選手も自己ベストを上回る 2 分 05 秒 122 を記録。A/B ドライバーのタイムを合算した総合順位ではクラス 5 番手となった。

＜予選リザルト＞

Pos.	No.	Car	A Dr. Time	B Dr. Time	Total Time
1	6	新菱オート DIXCEL 夢住まい館エボ 10	2’03.118	2’02,096	4’05.214
2	225	KTMS GR YARIS	2’03.185	2’02.563	4’05.748
3	13	ENDLESS GR YARIS	2’03.832	2’03.392	4’07.224
4	7	新菱オート DIXCEL エボ 10	2’03.716	2’04.713	4’08.429
5	**743**	**Honda R&D Challenge FL5**	**2’03.353**	**2’05.122**	**4’08.475**

RACE / 決勝

朝から雨が降る不安定な天気であったが、決勝を迎える頃には路面も乾き全車スリックタイヤで 5 時間の耐久レースが始まった。スタートを務めるのは、A ドライバーの石垣選手。スタート直後の 1 コーナーで 7 号車をパスして 4 位にポジションアップ。ライバル勢のピットインもあり 2 位まで順位を上げて走行していた 30 周目、FCY が導入されそうなタイミングで早めにピットインの判断を行い B ドライバー木立選手に交代。車両のコンディションは良好で順調にラップを重ねていたが、58 周目に練習走行でも出ていたガス欠症状が発生。想定より早いピットインで C ドライバー小林選手に交代。今回デビュー戦となる小林選手も安定したタイムで走行していたが、スティント中盤に同様のガス欠症状が発生したためピットイン。スタートドライバーを務めた石垣選手にバトンを渡す。この時点でクラス 4 位を走行。燃料系トラブルを抱え燃費走行に切り替えるが、結果的には 5 回のピット作業が必要となり上位争いに加わることは叶わなかった。しかしながら、戦略の迅速な判断とメカニックの正確な作業により無事完走、クラス 3 位でチェッカーを受けた。

<決勝リザルト>

Pos.	No.	Car	Laps	Total Time	Gap
1	13	ENDLESS GR YARIS	137	5:02’37.139	
2	6	新菱オート DIXCEL 夢住まい館エボ 10	137	5:02'41.464	4.324
3	**743**	**Honda R&D Challenge FL5**	**135**	**5:02'16.542**	**2 Laps**
		以上完走（規定周回数 ST-2：95Laps）			
	7	新菱オート DIXCEL エボ 10	98	3:37'34.869	39 Laps
	225	KTMS GR YARIS	23	1:31'28.236	114 Laps

ドライバーコメント

A ドライバー 石垣博基

オートポリスはシーズンの中で一番苦戦を強いられると予想していましたが、週末を通して 4WD 勢と十分戦えるポテンシャルがあると確認できたのは大きな収穫でした。これはベース車両である FL5 の進化もありますが、チームが進めてきた車両セットアップが良い方向に向かっていることの証だと思います。

予選では想定以上の良いタイムを出すことができましたが、トップから 0.235 秒遅れの 3 位でした。後から振り返ると細かいところでさらに詰める余地があったと思いますので、非常に悔しいです。

決勝はガス欠症状トラブルもあり、最大運転時間の規定ギリギリまで走行しました。前戦 SUGO では体力が持ちませんでしたが、今回は色々と準備を行い最後までパフォーマンスを発揮し続けることができ、自信になりました。

SUGO に続き暑くタフなコンディションでしたが、朝早くから夜遅くまで作業を行い車をきっちり仕上げてくれたチームメンバーに感謝するとともに、温かい応援をいただいた全ての皆様に御礼申し上げます。

B ドライバー 木立純一

フリー走行では、操作マネジメントの習熟を中心に予選に備えました。予選では、フレッシュタイヤの効果を発揮できるラップが 1 周しかないと認識して走行しましたが、うまくまとめることができずクラス 5 位のタイムとなりました。

決勝は 2 スティント目を担当。チームからの指示ペースを目標に走行しましたが、28 ラップ目の 3 コーナーでガス欠症状が発生。想定外のピットインで小林選手にバトンを繋ぎました。

レースウィーク中、乗りやすさ改善の為何度もアップデートしてくれたチームメンバー、猛暑の中応援に来て頂いた皆さまに感謝致します。次戦モビリティリゾートもてぎでも良いパフォーマンスを出せるよう準備して参りますので、引き続きご支援よろしくお願いいたします。

C ドライバー 小林天翔

今回スーパー耐久デビュー戦かつ、FL5 での走行は 2 月の富士の公式テスト以来ではありましたが、事前に 1000km ほどシミュレータで走行したことや FL5 の安定した車両特性により、大きなトラブルもなく走り始めることができました。

石垣選手、木立選手に対しタイムデルタが大きくペースの上げ方で苦しむ場面もありましたが、エンジニアメンバーが方向性を示してくれ、チームが走りやすいマシンに仕上げてくれたことでその差を縮めていくことができました。
単走でのペースは悪くありませんでしたが、S 耐特有の追い越し、追い抜かれ時によるペースのバラつきは大きな課題だと痛感しました。先輩ドライバーの走りから、さらに効率の良い走り方を考え、実践していきたいと思います。

今大会では燃料系のトラブルもあり満足のいく戦い方ではありませんでしたが、確実に他のチームと戦えるポテンシャルがマシンもチームもあることを実感しています。

終始緊張していた私をいつも前向きにコースへ送り出してくれたチームメンバーに感謝すると共に、応援してくださったすべての皆様に御礼申し上げます。

チーム監督コメント

チームとして 2 回目のオートポリス戦となりました。去年は FK8 での参戦で、エンジントラブルに終始し、レースを走り切るやっとの状態でした。今年は FL5 にスイッチし、もちろんこの車両でのオートポリスは初めての走行。フリー走行でデータ取りセッティング出しを進める中、ガス欠症状が発生した為、原因解析と対策を行い本番に臨みましたが、決勝でガス欠症状が再発し結果的に 5 回のピット作業を行い上位争いに加わることが出来ませんでした。最終的には 3 位表彰台獲得しましたが、FL5 のパフォーマンスを考えると悔しい結果となりました。しかしながら今回のオートポリス戦では、各領域でやらなくてはならないことを理解し動きにスピード感があり、トラブル発生時には相互補完が自然とできていること、ピット作業では確実性を重視しながらも ST-2 クラスで TOP クラスの速さで作業を終えることが出来るようになり、一体感がありチーム全体の成長がさらに感じられたレースとなりました。
次戦に向けて対策を図り上位争いができるようしっかり準備をして臨みたいと思います。引き続きご声援、ご協力よろしくお願いいたします。

チーム代表コメント

振り返れば昨年の最終戦から 5 戦連続の表彰台獲得となりました。4WD 有利のアップダウンが激しいオートポリス戦は順位よりも確実に完走することを目標に戦いましたが、3 位表彰台獲得は素直に嬉しく思います。この成績は今まで多くの失敗や経験をしてきた成果だと思います。また今回は若手メンバー中心に担当を振り分けレースをしました。特に重要な戦略担当とドライバーは今回のオートポリスがデビュー戦となりましたが、二人とも良いパフォーマンスを発揮しチームに貢献しました。一方、世界最高峰レースにチャレンジする為、数名のメンバーがチームを離れることになりました。大変残念ではありますが、HRDC は「人材育成」を目的とした活動ですのでレースの結果以上に嬉しく思います。HRDC での経験を活かして活躍することを期待します。

関係各位におかれましては、今回も多くの方にご支援、ご協力を頂きありがとうございました。次戦モビリティリゾートもてぎは Honda のホームコースとなりますので、FL5 のポテンシャルを最大限発揮できるようにチーム一丸となってチャレンジしチャンピオン争いの中心で戦っていきたいと思います。引き続きご支援ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

ポイントランキング

Rank	No	Car	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	Total
1	13	ENDLESS GR YARIS	22.50	45.00	15.00	30.00		---		112.50
2	743	Honda R&D Challenge FL5	30.00	27.00	12.00	18.00		---		87.00
3	6	新菱オートDIXCEL夢住まい館エボ10	2.00	37.00	20.00	24.50		---		83.50
4	225	KTMS GR YARIS	15.00	23.00	10.00	---		---		48.00
5	7	新菱オートDIXCEL夢住まい館エボ10	18.00	---	10.00	---		---		28.00

次戦は、9 月 2 日(土)～3 日(日) モビリティリゾートもてぎ（栃木県）にて開催されます。
引き続きご声援をよろしくお願いします

＜問い合わせ先＞ ※メールでお願い致します。
チーム代表　木立 純一　Junichi_Kidachi@jp.honda
望月 哲明　Tetsumei_Mochizuki@jp.honda